

「新・やまがた農業人」紹介



仲野 真 さん 天童市で就農

【出身地】天童市

【就農先】会社員

【就農年度】平成 20 年度(平成 20 年度、新規就農支援研修
農業大学校)受講)

【経営概要】水稲 6 ha、大豆 50a、そば 50a、おとう 45a
ラ・フランス 30a、桃 5a

山形県での就農の動機や考え方

私は農業とは無縁の環境に育ったこともあり、農業に対する希望はとても大きいものでした。初めに、農業の手伝いをさせていただきました。体を動かすことがとても気持ち良く自分に向いていると感じることができ、就農の決意を固めました。周囲の農家の方々から、協力してあげるからすぐに農業を始めたほうが良いと勧められ、農地探しから始めました。地域の方々からの協力もあり、果樹 80a、水稲 122a、野菜ハウス 2.5a という大面積からスタートすることになりました。知識も技術も道具もなかった為、農業大学校の実践支援研修制度を利用し、技術を盗み、機械を借りての農業経営でした。また、他の新規就農者達と天童市新規就農者ネットワークを立ち上げ、市内や首都圏へ直接販売に行ったり、技術や情報の交換をしたりできたことはとても心強く安心して農業に邁進できたと思います。

私の場合、就農と研修、販売等全てを同時にスタートでしたので、今振り返ると大変な事をしたと思います。しかしこれができるのは先輩、志を同じにする仲間、サポートしてくれる市役所、支援センター等の職員の方々に恵まれたからだと思います。

農業は個人経営というイメージがありますが人とのつながりはとても大切な職業です。決して一人で問題を解決ようとはせず、色々な方々に相談に行ってみてください。